

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公開番号】特開 2000-151086 (P2000-151086A)
 【公開日】平成 12 年 5 月 30 日 (2000.5.30)
 【出願番号】特願 平 10-320839
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 K 3/34

【 F I 】

H 0 5 K 3/34 5 0 1 E

H 0 5 K 3/34 5 0 5 C

H 0 5 K 3/34 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 2 日 (2005.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

図 1 の (A) において、はんだを含むはんだペースト 2 4 をプリント回路基板 1 0 の第 1 の電極 1 2 に印刷する。すなわち、第 1 の電極 1 2 に対応する開口部 2 6 a を有するマスク 2 6 をプリント回路基板 1 0 の上に配置し、はんだペースト 2 4 をマスク 2 6 の上にのせ、スキージ 2 8 をマスク 2 6 の表面に沿って滑らせ、はんだペースト 2 4 をマスク 2 6 の開口部 2 6 a に充填する。マスク 2 6 をプリント回路基板 1 0 から取り外すと、はんだペースト 2 4 がプリント回路基板 1 0 の第 1 の電極 1 2 の上に印刷される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

図 1 の (B) において、Q F P 1 6 をプリント回路基板 1 0 に搭載する。この場合、Q F P 1 6 のリードピン 1 8 がプリント回路基板 1 0 の第 1 の電極 1 2 の上のはんだペースト 2 4 の上に載るように Q F P 1 6 をプリント回路基板 1 0 に対して位置合わせし、Q F P 1 6 のリードピン 1 8 をはんだペースト 2 4 a によってタッキングし、赤外線ランプ 3 0 を照射することによってはんだペースト 2 4 a をリフローする。すると、Q F P 1 6 のリードピン 1 8 ははんだペースト 2 4 に含まれるはんだ 2 4 a によってプリント回路基板 1 0 の第 1 の電極 1 2 に接続される。なお、図には 1 つの Q F P 1 6 のみが示されているが、リードピン 1 8 と同様のリードピンを有するその他の Q F P 及び表面実装部品を Q F P 1 6 と同時にプリント回路基板 1 0 に搭載することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

図 7

